

# 国連軍縮会議の札幌誘致について

## 1 会議の概要

1988年、第3回国連軍縮特別総会に出席した竹下総理（当時）が、国連主催の軍縮会議の日本開催を提唱。翌1989年の京都会議（第1回）以降、毎年日本で開催されている。

（過去の開催状況は別紙のとおり）

この会議は決議やアピールを行うものではないが、世界各国から政府高官や軍縮問題専門家等を招き、テーマに沿った活発な討議を行うことにより、問題点の把握や相互の認識を深める点で、大きな意義を持つ。

また、この会議での議論が、国連やジュネーブ軍縮会議等での議論を促進する契機となり、世界の平和と安全保障に寄与することが期待されているものである。

開催地、テーマ等の決定権は、主催者である国連にある。

## 2 主催

- ・国連軍縮局
- ・国連アジア太平洋平和軍縮センター

## 3 協力・後援

- ・協力：地元自治体等
- ・後援：外務省

## 4 参加国・参加者

アジア・太平洋諸国を中心とする20～40か国から、政府高官（次官級）や軍縮問題専門家等が参加。正式参加者は60～70名程度で、他にオブザー参加もある。

参加者は、各国代表ではなく、個人的立場で出席する。

## 5 開催時期・期間

2004年（平成16年）7～8月頃、4日間程度。

## 6 誘致の背景

- ・本市では、コンベンションの積極的誘致を推進しており、国際的なコンベンション都市づくりを目指している。特に世界各地から多くの外国人が参加する国際会議は、札幌及び北海道にとって、国際的な知名度、魅力を発信できる良い機会であり、継続的に誘致を進めている。

最近では、IUGG（国際測地学・地球物理学連合）年次総会が開催されたところである。

- ・6年前（1997）に同会議を誘致・開催した実績があり、この他にもAPEC（アジア太平洋経済協力会議）高級事務レベル会合（1995）、中央アジア非核兵器地帯国連札幌会議（1999、2000）等の国際会議を開催しており、ノウハウが蓄積されていること。
- ・会議の開催により、「平和都市宣言」（1992）を行っている本市の国際平和に対する協力姿勢を内外に示すことができるとともに、会議参加者による記念講演を実施すること等により、市民の平和理解を高めることができること。

## 7 今後の予定

北海道とも連携を取りながら、近日中に国連に対して要請書を提出する予定である。

札幌開催が決定されれば、北海道、札幌市などで準備委員会を設立し、地元の協力体制を整えたい。

## 国連軍縮会議の開催状況

回	会議名	期 間	参 加 者	テ ー マ
1	京都会議 (第1回)	平成元年 (1989) 4月19日~22日	31か国 90名	「世界の軍縮の現状と課題」
2	仙台会議	平成2年 (1990) 4月16日~19日	21か国 42名	「科学技術の趨勢と国際平和・安全保障への影響」
3	京都会議 (第2回)	平成3年 (1991) 5月27日~30日	37か国 98名	「冷戦後の国際システムと多国間軍縮努力への挑戦」
4	広島会議 (第1回)	平成4年 (1992) 6月15日~18日	20か国 61名	「大量破壊兵器及び通常兵器の不拡散」
5	京都会議 (第3回)	平成5年 (1993) 4月13日~16日	37か国 90名	「相互依存世界における軍縮と国家の安全」
6	広島会議 (第2回)	平成6年 (1994) 5月24日~27日	19か国 62名	「軍縮の透明性，地域対話及び軍縮」
7	長崎会議 (第1回)	平成7年 (1995) 6月12日~16日	36か国 91名	「過去半世紀における軍縮努力と将来への展望」
8	広島会議 (第3回)	平成8年 (1996) 7月17日~20日	22か国 62名	「より安全な，また，核兵器のない世界に向けての共通の努力」
9	札幌会議	平成9年 (1997) 7月22日~25日	28か国 73名	「軍縮及び地域安全保障のための新たな課題」
10	長崎会議 (第2回)	平成10年 (1998) 11月24日~27日	23か国 100名	「核兵器のない世界に向けて」
11	京都会議 (第4回)	平成11年 (1999) 7月27日~30日	24か国 60名	「今後10年間の安全保障上の懸念及び軍縮戦略」
12	秋田会議	平成12年 (2000) 8月22日~25日	22か国 64名	「21世紀の軍縮と国連：その戦略と行動」
13	金沢会議	平成13年 (2001) 8月28日~31日	16か国 62名	「アジア太平洋地域：21世紀の安全保障の範囲及び軍縮の変革」
14	京都会議 (第5回)	平成14年 (2002) 8月7日~9日	14か国 37名	「国際安全保障と軍縮に対するテロリズムの挑戦 世界及び地域への影響」
15	大阪会議	平成15年 (2003) 8月19日~22日	18か国 55名	「軍縮とその将来」
16		平成16年 (2004)		